



おおふじ



12月号

令和元年12月3日

「人権」について考えよう

11月の終わり頃から、めっきり寒さが感じられるようになりました。朝、太陽が姿をみせる時間もずいぶん遅くなって、今日（12月3日）の弥富の日の出時刻は6時44分だそうです。子どもたちは、まだ暗い時から起きて準備をして、天候によってはまだ薄暗い時刻から登校しているのでしょうか…。

明日の12月4日（水）から12月10日（火）までを「人権週間」といいます。

人権週間とは、我が国で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、今から70年前の1949年から毎年制定されているもので、人権の大切さについて振り返り、考える期間としています。

大藤小学校では、昨日の朝礼の時間に、児童会の子どもたちが中心となって計画・運営した「人権集会」が行われました。



『以心伝心』ゲーム

クラスみんなで手をつないで輪をつくりまわします。

担任の先生出発で、手をつないだ隣の人の手をぎゅっと握ります。握られた人は、そのまた隣の人の手をぎゅっと握ります。早く一周できるように、みんなで心を合わせます。



目かくしマスゲーム

クラスみんなで輪をつくり、みんなで声をかけ合って、できるだけきれいな正方形を制限時間3分で作ります。



どちらのゲームもみんなで1つにまとまりました。心があたたかくなるゲームでした。

子どもたちに、人権について話をしました。

人権は「誰もがその人らしく生きていくことができる権利」。どの子も一人一人違いはありますが、みんなかけがえのない命を持っています。人として生きる権利があります。

自分の命や体を大切にしてください。それと同時に、身の回りにいる仲間、友達の気持ちや思いを感じ取り、大切にしてください。いいところをいっぱい見つけてくださいね。



優しく、思いやりの心をもつ子がいっぱいの大藤小学校にしていきたいです。